



写真②

米子市 文化活動館 通信



写真③

スペインで絣展 あがる感嘆の声



館長 中村輝彦

「素晴らしい。いくつもの工程を経て作る日本人に感心した」と、出展した絣作品に感嘆するスペインの人たちを見て、ホッと胸をなで下ろしました。それは、私だけではなく、同行した倉吉絣の第一人者で鳥取県伝統工芸士、福井貞子さんから総勢約30人に共通した思いでもありました=写真①

旭ビル管理株式会社は、文化活動館の他、倉吉の伯耆しあわせの郷の指定管理者で、そこでは福井さんが約30年にわたって講師を務める倉吉絣の教室を開いています。現在の受講生49人のうち約30人が過日、スペインを訪れ、絣作品約40点の展覧会を催し、現地の人たちと交流しました=写真③。展覧会は、会場となったバルセロナ郊外のカペラデス製紙博物館と、青谷の因州和紙の関係者が20年来の交流がある縁で実現しました。今回、出展した作品は木綿の経糸(たていと)に和紙を織り込んだ緯糸(よこいと)で制作した伝統工芸のいわば「コラボ、ともいえる作品でした。このため、展覧会は「木綿と和紙で織った日本の伝統的絣展 in スペイン」と銘打っての開催となりました。

ヨーロッパの人々の絣に対する反応に不安と期待を抱いての旅立ちでしたが、大好評のうちに閉幕し、杞憂に終わりました。博物館長は、開館以来の入館者数で在バルセロナ総領事が初めて来館されたと大いに喜ばれていました。サラマンカ大学にも訪れ、日本語を学ぶ学生を対象に織物のイベントを開催。スペイン側の交流拠点となる大学内の日西文化センターの所長からは、上皇后美智子さまのお名前から命名された「美智子様ホール」での展覧会を提案されるなど、友好的な雰囲気での交流となりました。

また、建築家のアントニ・ガウディの約140年前から建築が続くサグラダ・ファミリア(聖家族教会)=写真②=なども視察し、誠に実り多いスペイン旅でした。



写真①

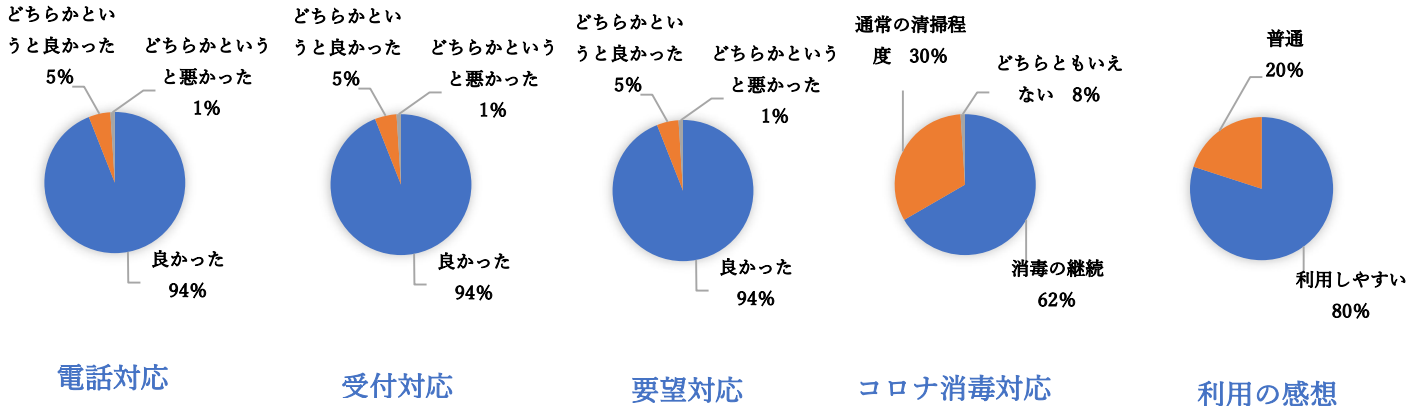


木
洩
れ
日
散
歩

神聖な白色 正月の米子は、純白の雪で覆われているのでしょうか。日本で固有の色表現は、明(赤)、暗(黒)、顕(白)、漠(青)の4色とされています。なかでも白は特別な色で、神話の時代から尊ばれてきました。奈良時代に成立した国史『日本書紀』では、景行天皇の条で、亡くなった日本武尊(やまとたけるのみこと)が白鳥(しらとり)となって天に昇った、とつづっています。他方、歴史書『古事記』は、白鳥を「八尋白智鳥(やひろしろちどり)」としています。「尋」は長さの単位で、1尋は大人が両手を広げた長さだそうです。おおざっぱな単位で、何とも言い難いのですが、仮に1尋が1.5丈とすれば八尋は12丈にもなります。余りの大きさに「うーん」とうならざるを得ません。古代人は、白い鳥を魂の姿と考えていたようです。白い鳥の代表格は、やはりハクチョウでしょう。白鳥は晩秋、日本に突然に現れ、春に忽然と姿を消します。渡り鳥のそうした不思議な行動が神秘的でもあったのでしょうか。魂が天上に昇っているのです。また、日本書紀には、長門国(山口県西部)から白雉(しろきぎす=白いキジ)を献上された孝徳天皇が、めでたいことの兆しとして元号を「大化」から「白雉(はくち)」に改められた、と記しています。このように、古代の人々は、白色に特別な思いを抱いていました。現在も白色を尊ぶ名残がみられます。神職の装束は、古代から脈々と受け継がれた「白」です。また、花嫁が身にまとう白無垢(しろむく)などもそうですね。(文、写真とも山根)

令和5年度 利用者アンケートの集計結果

利用者の皆様にスタッフの対応などのアンケートを行い120人の方にご協力をいただきました。



弓浜緋の世界(番外編)

文様⑥

初夢(元旦から2日にかけて)で見れば縁起がよいとされる江戸時代のことわざを表現した「一富士二鷹三茄子文」。ちなみに四は末広がりの「扇」、五は、煙が上に昇ることで「煙草(たばこ)」だが、これは現代に合わない。一方、正月遊びを題材にした「羽子板に毬(まり)文」。どこか懐かしい正月風景が目につかびます。



一富士二鷹三茄子文(山陰歴史館蔵)



羽子板に毬文(山陰歴史館蔵)

文化活動館 トピックス



吹奏楽団なども参加の山地二区祭(11/5)



餅つきを楽しむ天使園の子どもたち(12/10)



好評だった韓国料理教室(11/25)

休館日 ◆1月=年始の1日(月)、2(火)、8日(月)と毎週水曜日 ◆2月=毎週水曜日と11日(日)、12日(月)、23日(金) ◆3月=毎週水曜日 ◆4月=毎週水曜日と29日(月)

利用時間 開館日の利用は平日と土曜日が9:00~22:00(日曜日は17:00まで)。部屋貸し出しは閉館の15分前まで。



あとがき



昨年秋に小型除雪機を導入しました。今まではすべて人力で、玄関前や駐車場などの雪かきを行っていましたが、除雪機も使いながら効率的に作業できるようになりました。12月11日現在、試運転のみで出番はなく助かっています。除雪機の出動が少ないのはありがたいですが、スキー場は降ってもらわないと困るでしょう。降雪を待ち望む人も、そうでない人も満足できる適度な降り方ができないのでしょうか。(R)

お申し込み・お問い合わせは 米子市文化活動館 ☎0859(34)5154

〒683-0802 鳥取県米子市東福原8丁目24-31 FAX=0859(30)4788

米子市文化活動館 指定管理者 旭ビル管理株式会社 <https://y-bunkak.com>